

一般社団法人子どもの声からはじめよう

子どもアドボカシー講座<基礎>



子どものマイク
になろう！

©2022 JaSCAS. All Rights Reserved

アドボカシーを知りたい人におすすめの講座です

2023年

12月2日(土)
-12月24日(日)

日程	時間	内容	講師
11/27-12/2	期間内に視聴	「THREE FLAGS-希望の狼煙-子どもアドボカシーを知ろう！」 「子ども理解を深める」「子どもの権利条約と権利擁護」	
12/2(土)	18:00-20:00	オリエンテーション 「子どもの声からはじめよう」	社会的養護経験者
12/3(日)	9:00-10:30	子ども理解を深める	小澤 いぶき氏
	10:45-12:00	子どもの権利条約と権利擁護	川瀬 信一
12/4-12/9	期間内に視聴	「子どもの多様性の理解」「子どもアドボカシーとは」 「子どもアドボカシーの理念と原則」	
12/9(土)	18:00-20:00	子どもの多様性の理解	平山 裕三氏
12/10(日)	9:00-10:30	子どもアドボカシーとは	堀 正嗣氏 (進行:川瀬)
	10:45-12:00	子どもアドボカシーの理念と原則	堀 正嗣氏 (進行:川瀬)
12/11-12/16	期間内に視聴	「個別アドボカシーとは」「訪問アドボカシーとは」 「障害児・乳幼児のアドボカシー」	
12/16(土)	18:00-20:00	訪問アドボカシーとは	奥村 仁美氏
12/17(日)	9:00-10:30	個別アドボカシーとは	栄留 里美氏
	10:45-12:30	障害児・乳幼児のアドボカシー	堀 正嗣氏
12/18-12/23	期間内に視聴	「こども家庭福祉とアドボカシー制度」	
12/23(土)	18:00-20:00	こども家庭福祉とアドボカシー制度	川瀬 信一
12/24(日)	9:00-10:30	子どもの権利条約と権利擁護 (演習)	川瀬 信一
	10:45-12:00	リフレクション	

修了レポート提出 (12月31日締め切り)

講師の紹介



堀 正嗣氏

熊本学園大学教授、
子どもアドボカシー学会会長



小澤 いぶき氏

NPO法人PIECES代表理事。
児童精神科医。トラウマ臨床、
虐待臨床、発達障害臨床を
専門とする。



奥村 仁美氏

子どもアドボカシーセンター-OSAKA代表
子どもアドボカシー学会理事



栄留 里美氏

大分大学福祉健康科学部専任
講師、博士(社会福祉学)、
社会福祉士、保育士



平山 裕三氏

株式会社はぐくむ、神戸大学、
新潟大学非常勤講師
(キャリアデザイン)。



ファシリテーター-川瀬 信一

一般社団法人子どもの声からはじめよう
代表理事。こども家庭庁参与。
当講座ファシリテーター。

<基礎> 講座のご案内

子どもアドボカシーとは、子どもの声に耳を傾け、子どもが自ら声をあげたり、子どもの声を伝えたりすることです。子どもアドボカシーを研究・実践している方々やユースとともに、子どもアドボカシーの理念や、アドボケイトに求められる知識・スキルを学ぶ講座を開催いたします。

日 程 | 12月2日(土)～12月24日(日) オンライン実施 (動画視聴含む)

定 員 | 100名程度

受講費 | 一般：12,000円 子どもアドボカシー学会員：10,000円

- * 本研修は「子どもアドボカシー学会」との共催ですので、学会の基礎講座修了認定が受けられます
講座の説明・認定については、学会HPの受講要項と説明動画をご参照ください
- * 29歳以下の社会的養護等経験者・学生は無料です
- * 過去の弊団体の講座修了者は、無料で「学びなおし受講」ができます

テキスト | 堀正嗣「子どもアドボケイト養成講座—子どもの声を聴き権利を守るために」
(明石書店) ※各自でご購入の上、適宜ご参照ください。

<お振込み先> 11月30日までに振込みください

銀行名：三菱UFJ銀行 支店名：小松川支店 普通 0180388
名 義：シャ) コドモノコエカラハジメヨウ

※ 申込者氏名と振込口座名を同一にしてください。異なる場合は、その旨をご連絡ください

申し込み | 下記の申し込みフォームよりお申し込みください。

- ① 参加者の情報 (氏名、住所、ご所属等)
- ② 参加理由

申し込みフォーム

<https://www.globa.com/forms/9769>



QRコードはこちら

個人情報の取り扱いについて：

本講座の申し込みにあたってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、本講座の事務連絡に使わせていただくほか個人が特定できないよう処理した上で講座運営のための資料として利用させていただくことがあります。予めご了承ください。

